

## 令和8年度 第1回 学校運営協議会議事録

日時 令和8年5月12日(火) 10:35~11:40

場所 盛岡青松支援学校 会議室

### I 出席者(7名中6名出席)

- A 委員 (公民館代表)
- B 委員 (福祉施設代表)
- C 委員 (学習活動施設代表)
- D 委員 (接続する学校の職員)
- E 委員 (福祉施設代表)
- F 委員 (PTA 代表) ※1名は所用のため欠席

### II 学校見学

10:00~10:30

### III 第1回学校運営協議会

10:35~11:40

- 1 開会
- 2 委員及び教職員紹介(自己紹介)
- 3 校長挨拶
- 4 会長・副会長選出

会長にA委員、副会長にB委員を事務局より提案し、承認された。  
以降の議事については、会長であるA委員が進行した。

- 5 学校運営計画について
- 6 教職員働き方改革アクションプランについて
  - ・5および6については校長より説明

#### 【質問】

#### 【D委員】

中学校でもさまざまな教員の授業を参観する取組を行っているが、業務多忙のため難しい現状がある。このような研修について、どのように取り組んでいるのか。

〈校長〉

授業参観の期間を設定し、その期間を中心に取り組んでいるが、生徒の実態等もあり、現状としては厳しい面もある。教職員の学部異動もあるため、授業を参観する機会は大切な研修であると考えている。

〈教務主任〉

年2回、各1週間の期間を設定している。実際には児童生徒の状況により難しい面もあ

るが、工夫して取り組んでいきたい。特に他学部の授業参観は、授業力向上のみならず、現在担当している児童生徒の指導を考える上でも重要であると考えている。

#### 【E 委員】

ワンハートボックスはどのように活用されているのか。また、実際の件数はどの程度か。  
〈事務長〉

昨年度の活用件数は0件であった。行事や業務の振り返りについては、主に書面で実施している。

### 7 本校の教育活動について

副校長より全体説明の後、各学部より説明

- ・小学部 学部主事より説明
- ・中学部 学部主事より説明
- ・高等部 学部主事より説明

### 8 意見・提言

#### 【F 委員】

働き方改革アクションプランは、教職員がより良い環境で働くためのものと理解している。教員のストレスは大きいと推察される。時間外在校時間が強調されているが、岩手県のホームページによると、「生き生きと業務ができているか」は過半数程度である一方、「家庭のための時間が確保できているか」は約43%、「自由時間の確保」は約45%にとどまっている。仕事の内容や意欲の面も含め、教職員に寄り添った取組を目指してほしい。余暇を楽しむことも重要であり、その点も含めて検討してほしい。また、協議会においては、より分かりやすい形での提案を望む。

〈校長〉

校長自ら率先して年次休暇を取得するなど、具体的な取組を示していきたい。

〈A 委員〉

教員はプロとして全力で取り組もうとするが、心に余裕があることでより力を発揮できる。そのため働き方改革は非常に重要である。

#### 【E 委員】

新しい環境の中で、児童生徒を指導することは想像以上に大変である。福祉サービスにおいても利用者理解には時間を要するが、教職員は丁寧に対応されていると感じている。

#### 【D 委員】

授業を参観し、清潔で落ち着いた環境が整っていると感じた。特別支援が必要な児童生徒が増加する中、通常学級でも対応が求められ、難しさが増している。昨年度は避難訓練や文化祭で交流の機会があり、地域として大変意義を感じている。今年度も交流及び共同学習を通して、教員同士の学び合いの場として活用したい。

### 【C 委員】

学校祭での生徒の発表や作品から、丁寧な指導が行われていると感じた。博学連携は昨年度5回実施され、生徒の評価も高かったと聞いている。実物資料を用いた授業は興味関心を高め、教員の指導力向上にもつながる。今年度も連携を深めたい。

また、不適切指導への対応が明記されているが、昨年度は不祥事が多く、学校への影響も大きかった。コンプライアンスの徹底をお願いしたい。

### 【B 委員】

アクションプランでは、年次有給休暇を5日以上取得している職員が36名中23名であり、未取得者も一定数いる。民間では取得が義務化されているが、学校の状況はどうか。  
〈校長〉

年次休暇のほか特別休暇等もあり、時間単位で取得するケースもある。県の調査により、5日以上取得していない教員には面談を行うこととされている。周知の徹底が重要と考える。

### 〈B 委員〉

教職員が心身ともに健康でなければ、児童生徒への支援も難しい。休暇取得状況について理解し安心した。

### 【B 委員】

学校評価アンケートにおいて「地域への貢献」の評価が低く、「分からない」との意見も見られる。教育活動は非常に質が高いと感じているため、地域貢献の内容を可視化し周知してほしい。

### 〈校長〉

本校は地域支援に力を入れており、その実績を今後積極的に発信したい。アンケートについても外部対象の拡大を検討する。

### 〈A 委員〉

地域から学校へ貢献したいという思いがあるが、どのように関わればよいか分かりにくい面がある。必要な際は町内会等へ相談いただければ支援したい。作業実習では生徒の主体性が感じられ、居場所づくりに感謝している。

### 〈F 委員〉

私は居住地域の委員を務めており、地域連携として地域にある特別支援学校と避難訓練や地域行事への参加などを共に行っている。小さな取組の積み重ねがつながりを生むため、今後も地域との連携を深めてほしい。

## 9 承認

令和8年度学校経営計画については、全会一致で承認された。

## 10 閉会